

議事要旨

会議名	佐賀駐屯地に関する協議会 農業部会
開催日時	令和8年1月26日(月) 午後1時55分から午後2時55分まで
場所	佐賀市役所川副支所 会議室1
出席者	〔佐賀市〕 ・川副部長(農林水産部) ・星下部長(政策推進部) 〔JAさが〕 ・古藤部長(総務部) ・中原部長(佐城エリア総合部) ・田中支所長(川副中央支所) ・横尾支所長(東与賀支所) ・福岡所長(佐城南営農経済センター川副・東与賀事業所) ・渡辺次長(中部地区営農経済センター佐賀市南部事業所) 〔九州防衛局〕 ・佐々木部次長(企画部) ・下川部次長(企画部兼管理部付) ・植田部次長(調達部) 〔佐賀駐屯地〕 ・田口隊長(業務隊)
議題	1 組織体制・協議事項について 2 駐屯地開設以降の運用状況について 3 佐賀駐屯地の工事に係る環境現況調査(令和6年度)の結果について 4 意見交換
概要	<u>議題1 組織体制・協議事項について</u> ・事務局から資料に基づき、協議事項及び組織構成等について説明。 <u>議題2 駐屯地開設以降の運用状況について</u> ・九州防衛局から資料に基づき、駐屯地開設以降の運用状況について説明。 <u>議題3 佐賀駐屯地の工事に係る環境現況調査(令和6年度)の結果について</u> ・九州防衛局から資料に基づき、令和6年度の環境現況調査の結果について説明。 (質問等)

- ・昨年 12 月頃までは、カモによる大麦の芽の食害が少なかったが、現在、大詫間地区では食害が多いとの報告を受けている。カモなどの渡り鳥の状況を教えてほしい。(J A さが)
- 猟友会からは、カモの飛来数は例年と変わらないと聞いている。また、駐屯地開設以降の東よか干潟への渡り鳥の飛来数は、例年と殆ど変わらないことを確認している。しかし、川副町や東与賀町では、例年よりカモによる食害の影響が大きい農地があるため、生産組合長を通じて、水路へのテグスの設置や吹き流しの設置などの対策をお願いしている。(佐賀市)
- ・駐屯地の開設の影響により、駐屯地周辺以外の地区で、カモによる食害が増えたのでは。(J A さが)
- 近年は、久保田町や嘉瀬町での食害が増えており、年々、市内全域に被害が拡大している。駐屯地の開設の影響により、駐屯地周辺以外の地区に被害が拡大したとは認識していない。(佐賀市)

議題 4 意見交換

- ・昨年 10 月に発生した平和搦の農地の冠水のことについて、対応状況を伺いたい。(佐賀市)
- 九州防衛局から公表資料に基づき、冠水に関する原因及び再発防止策について説明。
- ・今後同様の事案が生じた際の防衛省の連絡先を明確にしてほしい (J A さが)
- 九州防衛局の連絡先を説明。(九州防衛局)
- ・11 月に判明した駐屯地西側の農地における大豆の生育不良について、対応状況を伺いたい。(佐賀市)
- 佐賀駐屯地から、駐屯地の隣接耕作地における大豆の生育不良の対応について説明。
- ・今のところ被害が発生した農業者からは補償の話は聞いていないが、同様の事象が今後再発しないよう対応してほしいと思われる。(J A さが)
- 今後は、草刈り及び必要な薬剤の散布時期については、J A さがのみならず、農業者とも連携しながら実施していきたい。また、今後、被害が発生した農業者から補償を求められた場合は、関連資料の収集に関して、J A さがに協力をお願いしたい。(佐賀駐屯地)
- ・駐屯地開設以降、駐屯地の近隣の農地では、ドローンやヘリによ

	<p>る防除作業の際、駐屯地や警察への手続きが必要になり、農業従事者の負担が増えている。農業従事者の負担軽減のため、インターネットでの手続きなど、手続きの簡素化はできないのか。(JAさが)</p> <p>→昨今のドローンの利用状況を踏まえて、農業従事者の負担軽減について検討している。今後も、現場の意見を聞きながら、安全確保と農業従事者の負担軽減の両立が図られるよう、関係機関と連携して対応していきたい。(九州防衛局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐屯地開設以降、西干拓地区内のクリークの水位が上がったと聞いている。駐屯地設置との因果関係があるのでは。(JAさが) <p>→駐屯地の北側には旧堤防があり、旧堤防の北側の排水は、旧堤防で東西に分かれ、西干拓地区にも流れている。西干拓地区は、市内の最南端に位置しているため、排水によって水位が高くなりやすい傾向にある。そのため、本市では、出水期の事前排水や排水機場のポンプによる排水を行い、農地の冠水防止に努めている。今後も引き続き、慎重な排水対策を行っていきたい。(佐賀市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐屯地開設以降、自衛隊車両を頻繁に見るようになったが、今後は、訓練等により、自衛隊車両の通行量は更に増えるのか。(JAさが) <p>→駐屯地の運用に関わる内容であるため、明確な回答は差し控える。他方、隊員には、学校付近の低速走行や農耕車両への配慮を注意喚起している。(佐賀駐屯地)</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>
--	---